



# 自律した学習者を育てる教師の養成プログラム TEX

## Teacher Education Program for the Transformation

20241206  
中央教育審議会 教員養成部会

国立大学法人 兵庫教育大学

(1) 先導的・革新的な教員養成プログラム・教職科目の研究・開発

① 新・教員養成スタンダードの策定

新・兵庫教育大学教員養成スタンダード

- ▶ e-ポートフォリオや資質・能力ごとのGPAによる可視化システム

② 先導的・革新的教職科目の開発

- テーマ1 学習者中心のデザイン、ファシリテーターとしての教師の役割、インクルーシブ教育
- テーマ2 EdTech、教育データの利活用およびSTEAM教育
- テーマ3 教師の連携・協働による教育体制の構築のための教育
- テーマ4 教職大学院共通5領域に加える新たな領域科目の開発とその汎用化



- ▶ 学習者観・学習観の転換
- ▶ インクルーシブ教育の理解
- ▶ EdTechが活用できる
- ▶ 教育データが活用できる
- ▶ 教員採用試験受験率の向上



- ▶ 学習者中心の授業ができる
- ▶ インクルーシブ教育が実践できる
- ▶ EdTechが活用できる
- ▶ 教育データに関する実務ができる
- ▶ STEAM教育が実践できる



- ▶ 自律した学習者を育てる教師
- ▶ 児童・生徒の認知・非認知能力の向上を支援する教師
- ▶ カリキュラム・マネジメントを通して授業や学級経営を改善する教師
- ▶ 連携・協働の中核を担う教師
- ▶ フレキシブルに学び続ける教師

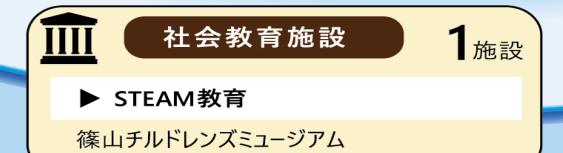
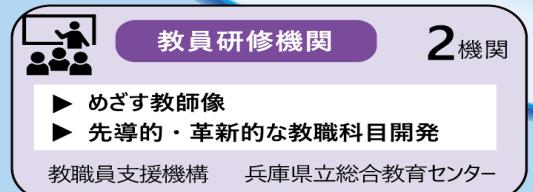
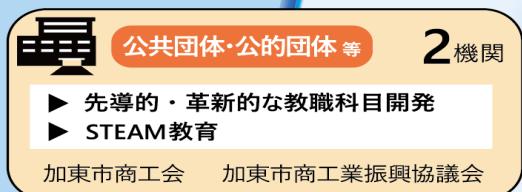
(2) 全国的な教員養成ネットワークの構築と成果の展開

兵庫教育大学教員養成フラッグシップ大学コンソーシアム

- ▶ アジャイル型手法とリンクした社会的インパクト評価ツールの開発
- ▶ 全国ネットワークによる成果発信(教員養成スタンダード・カリキュラム・FD)

(3) 取組の検証を踏まえた教職課程に関する制度の改善への貢献

- ▶ 5年一貫による教員養成など教員養成の制度改革への貢献
- ▶ 教育大学(学部)における専門職養成機能の強化



兵庫教育大学教員養成フラッグシップ大学コンソーシアム

国立大学法人  
**兵庫教育大学**

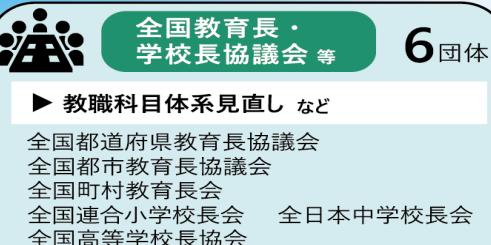
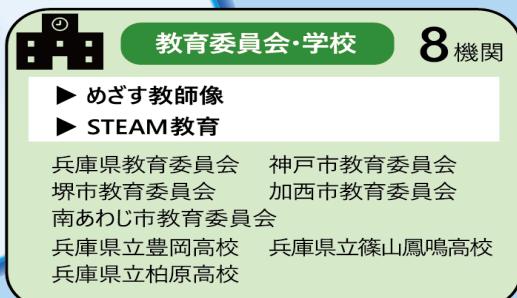
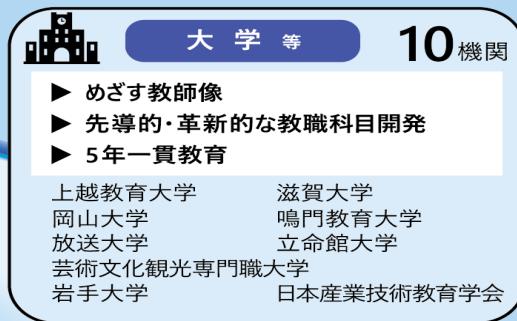
先端教職課程カリキュラム開発センター

..アジャイル型手法によるカリキュラム開発..

- 2つの研究開発部門を設置(専任・兼任合わせ38人の教員を配置)
- ▶ 先端教職科目研究開発ラボ
  - ▶ 教職課程改善システム研究開発ラボ

教員養成・研修高度化センター

- 現職教員研修(採用・研修機能)に特化





# 「学び続ける教師」を目指して

## ■ 兵庫教育大学が目指す教師像

皆さんは、「世界一、素晴らしい授業」ってどんな授業だと思いますか？ あるいは、「10 年前の素晴らしい授業」と「10 年後の素晴らしい授業」とは果たして同じだと思いますか？

言うまでもなく、唯一無二の「世界一、素晴らしい授業」は存在しません。また、「10 年前の素晴らしい授業」は、10 年後にも「素晴らしい授業」と評価されるとは限りません。しかし、「その時の A さんにとっての素晴らしい授業」は確実に存在しています。教育は、一人一人の子供の実態に応じて、その個別具体性に寄り添いながら、ねらいとする資質・能力を育成していくことが求められます。一方で、学習指導要領や幼稚園教育要領は概ね 10 年に 1 度、改訂が行われます。これは、社会の変化に対応して、教育の考え方もどんどん進化していくからです。

このように考えると、教師という仕事は、教職に関わるしっかりとした軸を持ちながら、一人一人の子供の個別具体性を学び取るとともに、その子供たちが大人になる 10 年後、20 年後の未来を予見しながら、新しい教育改革の考え方を学び続けていく必要があります。教師の専門性は、「学び続ける」ことこそに存在しているのです。

兵庫教育大学では、このような考え方のもと、「学び続ける教師」の育成を目指しています。本学での学修をスタートラインにして、生涯にわたって継続的に自己の専門性を高め続けていける、そんな力 (CPD) を皆さんに獲得して欲しいと願っています。

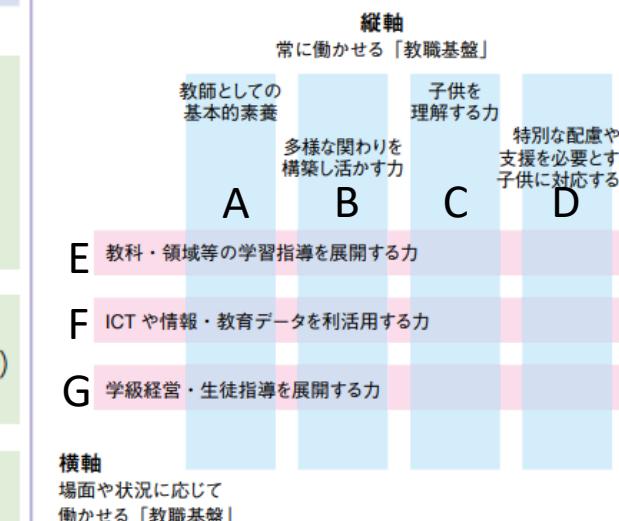
# 兵庫教育大学 新・教員養成スタンダード

## 19の教職基盤

- A 01- 豊かな人間性・教養、人権意識
- A 02- 教職の意義と関係法規、学習指導要領、教育改革の動向等
- A 03- 学校の組織マネジメントと働き方
- B 04- 連携・協働、コミュニケーション、ファシリテーション
- C 05- 子供の発達と学習
- D 06- ダイバーシティとインクルージョンの教育

- E 07- 学習者中心の学習観・授業観
- E 08- 教科等の専門性と教材研究
- E 09- 授業設計・実践・評価・改善
- E 10- カリキュラムの開発・実施・評価
- E 11- STEAM 教育
- F 12- ICT の利活用
- F 13- 情報教育(含プログラミング教育、情報モラル・セキュリティ教育)
- F 14- 教育データの活用
- G 15- 生徒指導・生活指導
- G 16- 学級経営、特別活動
- G 17- 教育相談
- G 18- キャリア教育
- G 19- 防災教育、学校安全

### 「教職基盤」の領域構成



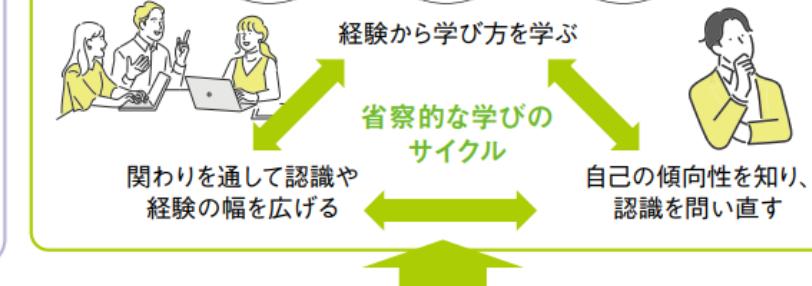
### 教師としての専門性の継続的な向上 (Continuing Professional Development)

学校教育における事象を、「教育基盤」との関わりの視点で捉え、多様と他者と関わりながら、省察的実践を展開し、自らを高め続ける



教職

- 問い合わせ課題を設定する力
- 探究し実践する力
- 省察し改善する力



### 教師としての潜在的な資質能力 (Growth Potential)

教員養成スタンダードの枠組み

教員育成



# カリキュラムポリシー

## 教養科目群

(アカデミックスキル科目、社会課題探究科目、理数系基礎科目、グローバルスタディーズ科目、表現コミュニケーション科目等)

## 教職共通科目群

(教育基礎科目、発達・心理科目、連携協働科目、インクルージョン科目等)

## 専門科目群

(教科教育、幼年教育に係る専門科目)

## 教育内容・方法科目群

(学習観・授業観転換科目、初等内容科目、初等教科・領域教育法科目、STEAM教育科目、ICT・情報・データ利活用科目、学級経営・生徒指導科目、教職支援科目)

## 教職探究・ リフレクション科目群

(教職キャリア発達科目、実地教育科目、インターンシップ科目等)

オレンジ: フラッグシップで新設した先導的科目



# 教職科目として新しく開設した科目

21単位

\* : 中高免には適用せず

テーマ	科目名	単位	授業方法	学年
教師の連携・協働	子どもの安全と学校組織	2	講演	1
	教師の連携・協働と学校経営	2	講演	3
	多機関連携と学校防災	2	講演	3
インクルージョン	インクルーシブ教育基礎論	2	講演	1
	インクルーシブ教育実践論	2	講演	2
学習観、授業観の転換	学習科学と授業のリデザイン	2	講演	2
	ラーニング・ファシリテーションの理論と実践	1	講演	2
EdTech	デジタル学習環境と情報活用	1	講演	1
	小学校プログラミング教育教材論*	1	講演	2
	情報モラル・セキュリティ教育論	1	講演	2
教育データサイエンス	教育データサイエンス	2	講演	1
STEAM教育	STEAM教育概論	1	講義	2
	STEAM教育演習	2	演習	2

# 学習指導系カリキュラムの構成

1・2年次

3・4年次

授業づくりの基礎・基本  
(従来のコアカリ)

学習観の転換  
新たに求められる学び

学びの個性化・専門性向上

CPDへの方向づけ

講義・演習・探究科目

初等教科内容科目  
初等教科教育法科目  
教職キャリア発達科目

学習観・授業観  
転換科目  
ICT・情報・  
データ利活用科目  
STEAM教育科目

多様な  
選択科目  
専門科目

教職実践演習

転換した学習観の落とし込み

初等教科授業デザイン科目

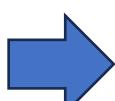
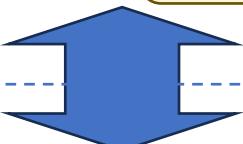
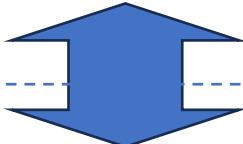
実地教育

学校観察実習

フレンドシップ実習

初等・中等基礎実習  
&リフレクション

学校教育応用  
実習  
(選択)





# 現行の教職科目から減する科目

現行の教職科目は、ほぼ全てを2単位科目から、2つの1単位科目（例えば教育基礎論は、教育基礎論Ⅰと教育基礎論Ⅱ）に分割。Ⅰを必修（コアカリを満たす）、Ⅱは選択。

初等教科教育法は英語を除き2単位から1単位に（10科目必修）。初等教科内容科目は、10科目必修についていたものを6科目選択必修に。

教科及び教科の指導法に関する科目	初等教科教育法	10科目20単位必修	→ 10科目11単位必修	-9単位	-13単位
	初等教科内容科目（各1単位）	10科目必修	→ 6科目選択必修	-4単位	
教育の基礎的理解に関する科目	教育基礎論 2→1単位、教育史 2→1単位 教職原論 2→1単位 教育社会学 2→1単位、教育制度論 2→1単位 発達心理学 2→1単位、教育心理学 2→1単位	選択必修 必修 選択必修 選択必修		-1単位 -1単位 -1単位 -1単位	-4単位
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育方法論 2→1単位 総合的な学習の時間の理論と実践 2→1単位 教育相談論 2→1単位 特別活動論 2→1単位			-1単位 -1単位 -1単位 -1単位	-4単位

小学校1種免の場合



# フラッグシップ大学の特例適用以外に新設した科目

<b>必修</b>	<b>教職基盤探究（1単位）</b> ※学校課題事例研究Ⅰを改廃
	<b>小学校授業づくり入門（1単位）</b>
	<b>教育情報化概論（1単位）</b> ※情報通信技術活用論を改廃
<b>選択必修</b>	<b>初等教科授業デザイン10科目（各1単位）</b> <b>5単位以上</b>



## 授業評価を実施したフラッグシップ科目（試行を含む）

年度	科目名	試行科目	連携先	受講者数	平均値
4	AI・データサイエンス基礎			140	3.27
4	教育データサイエンス			96	3.20
4	STEAM教育演習（教養ゼミ）	○	加西市	14	3.92
4	教育情報化概論	○	ダイワボウ情報システム(株)	173	3.71
5	AI・データサイエンス基礎			145	3.47
5	教育データサイエンス		(株)MM総研	147	3.54
5	STEAM教育演習（教養ゼミ）	○	加西市、加東市 アドベンチャーワールド	36	3.79
5	インクルーシブ教育実践論 (障害者理解と支援（入門）)	○		14	3.92
5	インクルーシブ教育実践論 (特別支援教育概説A)	○		103	3.76

# STEAM教育

- Phase I コア要素の開発
- Phase II シラバス開発
- Phase III 実践 (R7~)

✓ 「STEAM教育概論」：「総合的な学習の時間の理論と実践」の一部でコア要素を試行的に実施。  
✓ 「STEAM教育演習」：「教養ゼミ」の一部クラスで試行的に実施。



## [学修の意義]

各教科での学習を実社会での問題発見・解決にいかしていくための教科横断的な教育としてSTEAM教育の実施が求められている。STEAM教育科目では、STEAM教育の意義や教師としての在り方を学ぶ。

## [今後の予定]

✓ R7より「STEAM教育概論」、「STEAM教育演習」を実装予定。

アワーズ、加西市教育委員会と  
連携した授業実践  
フィールドワークやワークショップ

